

2026 VOL.25

5/6

初夏号

京都 便利堂 だより

KYOTO
BENRIDO
DAYORI

アートのある暮らしで彩りを

便利堂ものづくりインタビュー

《女史箴図巻》カラー複製プロジェクト

大英博物館所蔵の名宝…複製製作60周年記念◎西岡淳雄さん



【特集】

〈京都はん〉の楽しみ方

〈京都はん〉を味わい尽くす◎贈って、使って、飾って！

日本文化の美とともに
歩み続けて139年



アートのある暮らし

●マスキングテープ

日々の生活に美術を取り入れることは暮らしに彩りを与えてくれます。便利堂では、古典の名作から現代の作品までさまざまな美術作品をモチーフとしたアイテムを取り揃えています。毎号その中から、おすすめをピックアップして美術商品と暮らしの日常風景をご紹介します。



写真：山内崇誠（便利堂写真工房）

新年度が始まって1か月が経ちました。新しい場所で過ごしている方、そ

していつもの道を、いつもより少しだけ背筋を伸ばして歩いている方もいるのではないのでしょうか。ブレザーに初めて腕を通した入学式。前に立つ生徒の背中に白いバツ印の仕付け糸が見えたことがありました。おせっかいかなと思いつつも、「糸、ついてるよ」と小さな声で教えると、その子は驚いたように振り返り、照れたように笑いました。あの頃の初々しさを白いバツ印とともに思い出します。仮留めの仕付け糸。いつしか着崩すようになった制服も、就職活動でお世話になったリクルートスーツも、最初はジャケットの仮留めを解くところから始まりました。

◆

何かを始めることは期待に満ちている反面、不安で、心細さもあるものです。年を重ねた今でも、気持ちを固め

ることはなかなか慣れるものではありません。むしろ若かった頃の方が柔軟性と思い切りの良さで、新しいことへ飛び込めていたような。そう思うと、新しい季節に必要なのは最初から完璧に決めることではなく、まずは仮留めしてみることものかもしれません。

◆

決めきれないままでも、とりあえず進んでみる。貼って剥がせるマスキングテープも、そのための小さな道具の一つと言えます。本やノートの端に、封筒や贈り物の包みに。小物の目印に。曲がったらやり直したらいい。気分が変わったら剥がして、別の場所に貼ってもいい。そんな、やさしくて心強いマスキングテープを、新年度のおともに見ませんか。京都便利堂では、定番のロールタイプだけでなく、はがきサイズのマスキングテープもご用意しております。



日本の美術シリーズ マスキングテープ
ロールタイプ：全9種 ¥550
はがきサイズ：全8種 ¥220

"文房具の新定番" マスキングテープの魅力はなんといってもその使い道の多さ！ アイデア次第で多様な顔を見せてくれる奥深いステーションナリーです。再剥離し易いので、デコレーションや付箋代わりに幅広く使えます。



本誌に記載された表示価格は、すべて税込です。

折々の絵はがき

《大原(大原女)》田代正子
昭和48年 京都文化博物館蔵

大原の朝市を目指して京都市内から車で北へ向かうと、上賀茂のあたりから空気が澄んでくるのがわかります。遠くに眺めていた山々が近づくにつれ、普段とは違う鳥の声が聞こえるのではと急いで窓を開けました。外には次第に里山の光景が広がっていきます。大原女さんはきっとこの道を歩いたのでしょう。

「大原女」とは頭に「柴」を乗せ、京の町へ行商に出かけた大原の働く女性のこと。柴の重さは60キロにも及び、頭に置いた輪台と両手でそれを支えながら徒歩で市内へ向かうのはさぞかし過酷だったでしょう。しかし女性に苦勞のあとは見えません。見て取れるのはひたむきに働く人の強さと清々しさ、あとはおしゃれ心だけ。そう、短く着付けた紺の着物に紺の前掛け、そこへ赤い腰巾着が映える大原女さんの着衣は機能性と美しさを兼ね備えています。ひもの先についた房を見て、もしかすると彼女が選んで縫い付けたのだろうかと思いました。自分のためのおしゃれをそっと。歩くたび好きな色糸がしなやかに揺れる様子は、きっと働く自分を鼓舞する力になったはずです。

田代正子は堂本印象に学んだ日本画家です。描かれた一瞬と地続きにある女性の暮らしにはこんな小さな喜びがいくつも散りばめられているのかもしれない。そんな想像が広がりました。



表紙の絵はがき：
《大原(大原女)》
田代正子 ¥110



京都便利堂 だより

2026 VOL. 25
5/6
初夏号

CONTENTS

アートのある暮らし	02
便利堂ものづくりインタビュー 《女史箴図巻》カラー複製プロジェクト	04
季節のごあいさつ ㊥	10
美術はがきソムリエの 絵はがきマリアージュのススメ	11
【特集】 《京都はん》の楽しみ方	12
Information	16

2026年 企画・制作・発行 株式会社便利堂
5月1日発行 Director 鈴木 巧
(寄数月発行) Chief Staff 西川 愛
Staff 増尾麻黄 / 渡邊 葵 / 小川朝永

※本誌記載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。

《女史箴図巻》カラー

複製プロジェクト

手ごろな商品を通じて美術をより身近に親しんでいただきたい。企画・デザインから制作まで、妥協のない姿勢で取り組んでいる便利堂のものづくりの裏側を、作り手の声でご紹介していきます。

今回は、カラーコロタイプによる完全複製の先駆けとなった大英博物館の名宝《女史箴図巻》の複製製作から60年を記念し、当時の技術的背景や本プロジェクトについて、当時営業担当をされた西岡淳雄さんにお話を伺いました。

聞き手・社長室 前田千穂

●西岡淳雄さん

西岡淳雄さん
1931年京都生まれ。大阪外国語大学中国語科卒業。1956年便利堂へ入社、営業部配属。大英博物館での《女史箴図巻》複製プロジェクトに参加する。1978年より営業部長。1991年の定年後は顧問を2年間務める。趣味は旅行、読書。



撮影作業を行った地下の書庫フロアにて。（右から）西岡さん、担当のフォンテインさん、写真工房の辻本さん、コロタイプの棚田さん。

——西岡さんが便利堂へ入社されたのは1956年（昭和31）ですね。

そうだね。僕は大阪外国語大学の中国語科を卒業しているんだけど、会社は外大を出て中国語ができるとなれば英語ぐらいはペラペラやろうと思っていたみたいだね。当時、便利堂はすでに海外との取引がたくさんあって、便利堂が撮影した日本の文化財写真の貸出依頼や出版している書籍の注文が海外の出版社や書店から頻繁に来ていたの。これも僕の仕事のうちのひとつやったわけなんだけど、僕の英語は役に立たへんかったねえ。それでも海外へ向けて手紙を書く場面も多かったから商業英語の本を買ってきて勉強してね。ふふふ、しんどかったなあ。

——確かにそうですね。

正確さといえば写真。そこで写真のプリントであるコロタイプ図版の上に木版で色を乗せてカラー化するという掛け合わせの技法が生まれてくるの。

——なるほど、モノクロのコロタイプ図版の上に、部分的に必要な色を木版で刷り重ねるのですね。

ここからヒントを得て、木版の色版の部分も全部コロタイプでできたらカラー図版になるとちがうか、ということの研究が始まるんだね。戦前の昭和初期には、部分的なものや簡単なものはそれなりにコロタイプで多色刷ができるようになっていたみたいだね。

——そんなまだ技術発展の途中だった

撮影立会い作業中の西岡さん

1965年（昭和40）3月3日～16日まで大英博物館での《女史箴図巻》の複製用撮影を行う（画像はAIによるカラー再現）

《女史箴図巻》大英博物館蔵

中国東晋の画家・顧恺之（こ・がいし、344年？～405年？）の作と伝えられる人物画の名品で、西晋の張華による宮廷女性の規範を説く詩文「女史箴」に基づき、その教訓的場面を物語的に展開する。流麗で緊張感ある線描と抑制された彩色により、人物の感情や気品、場面の倫理性が巧みに表現され、中国古代絵画の成立と発展を示す極めて重要な作品とされる（画像はコロタイプ複製）

——西岡さんにとって、便利堂での日々はどのようなものでしたか。

便利堂は美術を中心にした仕事をやっているけど、日本だけでなく世界の文化に触れられる仕事というのは本当に幸せだと思うね。僕も大学を卒業するまぎわまでこういう仕事をするとは思ってもしなかったけれど、便利堂へ来たおかげで文化の中へたっぷりつからせていただいた。偶然とはいえそんな会社に入れたことは僕の一生の幸せかなと思うね。そういう幸せを過ごしてきたことは本当にありがたいし、よくぞ便利堂という会社があってくれたと思う。今の社員のみなさんにはそれをもっと噛みしめて、これからも文化発展のために尽くしてもらえればいいのじゃないかな。

——がんばります！さて、そんな便利堂の国際的なプロジェクトの代表例に、西岡さんの入社から間もない1961年から取り組んだ、大英博物館所蔵の《女史箴図巻》のカラーコロタイプによる完全複製があります。完成したのは5年後の1966年ですが、西岡さんはこのプロジェクトの営業担当だったんですね？

便利堂にとっても僕にとっても、非常に大きな意味のある仕事だったね。もう60年もたったんだねえ。

——コロタイプはもともと単色の技術でしたが、この《女史箴図巻》複製によってそれまで研究中だったカラーコロタイプが便利堂独自の技術として実用化されたと聞いています。これは大きな出来事でしたよね。

ほんとにね。《女史箴図巻》複製はカラーコロタイプが完成の域に達したからこそ受注できた仕事だったと言える。便利堂ではここに至るまで研究に研究を重ね、小品や1枚ものの作品の複製などでコツコツとカラーコロタイプの腕を磨き続けてきた。それが見事に花開いたのがこの《女史箴図巻》複製だったんだね。

——改めて、カラーコロタイプとはどういう技術開発なのでしょう？

コロタイプは19世紀中頃に発明された写真のプリント技法。当時写真はモノクロの撮影しか無かったから、当然プリントもモノクロしかできなかったわけやね。この頃日本では、カラー図版を作ろうと思うと木版画、いわゆる「錦絵」の技法しかなかった。明治時代にはこの木版画の技術が「超絶技巧」と呼ばれるほど精密精巧なものに進化して、こうした美術品の複製図版にも使われるようになるんだけど、手作業である以上、「正確さ」と言う点では1歩劣る部分があるのは否めない。



西岡さん。現在95歳ですが、まだまだお元気です

た便利堂が、なぜ長大な《女史箴図巻》の複製を、ましてや海外の博物館とのコラボレーションで作ることになったのでしょうか？

実は便利堂が完全複製を作る前に2度、《女史箴図巻》の複製が作られているの。一つは1912年大正元年に大英博物館が木版印刷で出したもの。刷ったのは、2年前にロンドンで行われた日英博覧会で木版の実演披露に来ていた漆原由次郎（もくしゅう）、有名な木版刷師だね。彼を館に招いて、労を惜しまずそれを実現されたのは大英博物館のローレンス・ビニョンさんという方だね。しかしながら、美術史家の論文※の中で「学問上の研究に資するには木版の外に別に写真の複製をも得まほしく思う」という意見が書かれていてね。

——より精緻なものを……ということですね。

もう一つは、1919年（大正8）に大和絵同好会（吉田幸三郎※）が出したモノクロのコロタイプ複製。写真原版をどのようにして入手したかは不明だけど、そのせいか、残念ながらあまり鮮明な画像とは言えない複製だね。

その後、ビニョンさんの完全複製への熱い思いは、娘婿である大英博物館東洋部長のバジル・グレイさんへと引き継がれたの。そこへ協力されたのが

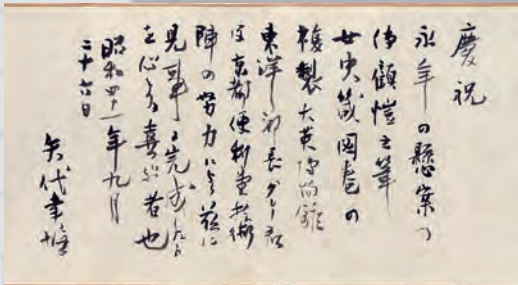
——ほんとですね。社員も3人を様々な形で応援しただろうなと……。

そうそう、会社が背広とコートを京都大丸で仕立ててくれたの。3人とも同じ生地とスタイルで、色だけは自由に選んでいいよと言ってね。当時の費用で計約15万円かったというからさぞかし良いものを用意してもらったんやろうなと思うね。だけどなんかそんなことをしているとだんだん敵地へ殴り込むような感じになってきてね、決死隊みたいな気がしたなあ。

——誰もやったことがないことを異国の地で形にするってすごいプレッシャーだったでしょうね。

営業はそうでもないけれど、やっぱり写真工房が一番たいへんやったね。その頃はまだフィルムが日本ではあまり使われていなくて、ガラス乾板での撮影が一般的だった。でもガラス乾板を日本から持って行くのは難しいからフィルムを用意しようということになり、イギリスのイルフォード社へ特別発注してね。イギリスへ行くのにイギリスから取り寄せるのもなんやけど現地で取り寄せがうまくいくかどうかかわからないからね。

——イギリスへ出発される際には総出で見送りだったそうですね。



「寄せ書き」に寄せられた矢代幸雄氏の揮毫

慶祝
永年の懸案の
御顧愷之筆の
女史箴図巻の
複製大英博物館
東洋部長グレイ君
及京都便利堂技術
陣の努力により茲に
見事に完成したる
を心より喜ぶ者也
昭和四十一年九月
二十六日
矢代幸雄

ローレンス・ビニョン
Laurence Binyon (1869–1943)
英国の詩人・美術史家。1893年に大英博物館に入り、版画素描部門の学芸員として東洋美術研究と収集に尽力し、同館で約40年勤務した。



Photo by Getty Images

「なんとしても今回の仕事を完全にやり遂げなければ」と心に誓ったね。

日本の高名な美術史家である矢代幸雄先生。彼は便利堂と深い関わりがあり、うちの技術の高さをよくご存じだった方だね、グレイさんから《女史箴図巻》の精巧な複製の実現について相談があった際に便利堂ともう1社を推薦してくださった。そこから石黒豊次部長後の6代目社長がイギリスへ足を運び、おそらくそこで実際に《女史箴図巻》の原本もご覧になったと思う。僕は僕で大英博へ意向を確かめる手紙を出すなどして、話が動き出したの。

——いよいよプロジェクトのスタートですね。大英博からは複製はコロタイプでという指定があったのですか？いや、グレイさんは最初からそのつもりだったかもしれないけれど、その指示はなかった。だからこそ我々はいわば気をきかせて、カラーコロタイプ以外の版式や書籍仕様など3種類の見積もりを用意し、そこへ提出見本としてカラーコロタイプの絵はがきなども添えてお渡ししたの。

——これで便利堂に決定ですか？まだまだ。次は実際のサンプル提出やね。大英博から8×10インチの大きなカラーポジフィルムが届いてね。その頃はそんな大きなカラーフィルムを便利堂では使ってなかったから、大英

社長や幹部をはじめ、社員や家族が大勢きてくれてね。忘れられないのは、京都駅へ向かう車のなかで中村桃太郎社長から「今朝、出社する前に法然院にある中村家代々の墓参りをして、この仕事の成功と皆の無事を祈ってきた」と聞かされたの。社長の優しさはもちろんだけど、社運をかける思いの強さが伝わってきて、「なんとしても今回の仕事を完全にやり遂げなければ」と心に誓ったね。

——いよいよ大英博物館での日々が始まります。

3月1日、東京まで移動して2日夜、羽田から出発。アンカレッジ、コペンハーゲンと経由して、ロンドンに着いたのは現地時間で3日の9時。手回り品をホテルに置いて、まずは大英博へ。出迎えてくれたのは、マリー・フォンティンさん。彼女はこれからずっと撮影場所で立会いや我々の面倒を見てくれる担当の方だね。まず最初に、撮影場所を案内してもらいました。

——いかがでしたか？

地下にある書庫の一角で、まあ通路の端っこみたいなどころでしたけど、さしたる問題もなく、ここでOKと。続いて暗室は5階にあったね。フォンティンさんに導かれて、次は部長室へ。

博ではこんなフィルムを使っているかとみんなでびっくりしたねえ。4月に見本刷を送り、受注が正式に決定したのは7月23日。

——決め手は？

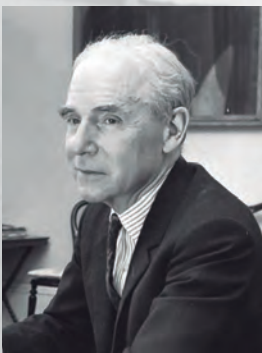
他社はモノクロのコロタイプに手彩色方式。便利堂は多色刷方式。やはりその客観性が評価されたんだろうね。

——なるほど。カラーコロタイプを長年研究してきた成果がここで発揮されましたね。そしてついに渡英です。

11月には僕、写真工房から部長の辻本来三郎さん、コロタイプからは棚田正博君、この3人でのロンドン出張が決まった。このプロジェクトは便利堂にとって3つの重要な意義があるんだけど、一つは先に言った「コロタイプの多色刷技術が完成の域に達した最初の複製」であること。二つ目が「写真・コロタイプの技術陣が初めて海外取材に出張した事業」ということになるね。

——この頃はきつと海外へ行くだけでも大変な出来事ですすよね。

そうだね。辻本さんの娘さんが小学校の先生にお父さんが海外出張することを話すと、先生がそれを全校の朝礼で発表されたいうからねえ。どんなに珍しいことだったかわかるでしょ？



バジル・グレイ
Basil Gray (1904–1989)

Gift: British Academy

いよいよ東洋部長グレイさんと面会。辻本部長が代表して「せっかくの大役をお受けした以上、1%でも2%でもより良いものを作るよう、努力する」と我々の決意を披瀝されたよ。

——翌日は撮影初日ですね。

朝、目覚めると外は粉雪が降っているね。ロンドンの「霧」ならぬ「雪」の出迎え。ホテルを出ると朝の冷気が身に染みて、これからの重大業務に改めて心身が引き締まる思いがしたよ。

——大英博で原本をご覧になっていかがでしたか？

この日、地下へ案内されるとそこにはすでに《女史箴図巻》が置かれていたんだけど、それを見たたん、もうびっくりしてねえ。西暦400〜500年頃に描かれて1500年ほど経っているものなのに、ちゃんと美しい色がついている。とにかくはつとするとるほど素晴らしいものやった。撮影では500Wの電球2個を画面より1m45cm離して照明をあてたんやけど、グレイさんの話では、図巻に人工照明を当てて撮影するのは便利堂が初めてのことだった。

――世紀の一瞬ですね。一同の緊張と驚嘆が伝わってきます。

《女史箴図巻》は元々は巻物だったんだけど、パネル装に改装されていてね。*9 図ある絵の部分が1枚の板に貼ってあり、もう1枚には絵の前後にある文字(題・跋文の部分がまとめて貼られていた。このパネル貼りになったる現状を複製で元の形に戻したいというのがグレイさんの意向のひとつやったの。巻物に仕立てる必要があるから日本で制作するほかなかったんだろうね。

――撮影は順調に進みましたか？

大きなプレッシャーのなか、初日はテスト撮影、2日目からさつそく本番撮影がスタート。半切サイズ(約36×43㎢)のモノクロ原寸分解撮影と8×10インチの縮小カラー撮影の2種類。

――モノクロとカラーと両方撮影するんですね。分解撮影とは？

カラーコロタイプを行うためには、それぞれ必要な色の版を作らないといけないの。その版のもとになるのが撮影のフィルムでね、撮影の段階で1場面に対して4枚のフィルムにそれぞれ違う色フィルターをかけて撮影し、モノクロフィルムに4色(赤・青・黄・黒)の情報記録することが「4色分解撮

――納品までどのくらい時間がかかったんでしょう？

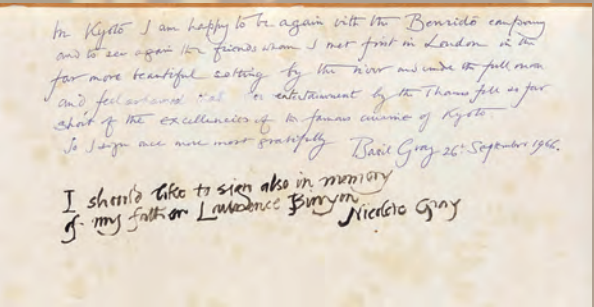
3月下旬に帰国して、初めて校正刷りを大英博に送れたのが8月末。再校にOKをいただいたのが10月末、そこから本格的な製作にとりかかり、ようやく納品の準備が整ったのが翌年の7月のことだった。そういえば出荷の日の写真が残っていたでしょう？ そこには5箱の木箱に収められた《女史箴図巻》の複製を日通の三輪トラックに積み込む情景が写っていたね(下掲)。

――完成品に対してグレイさんから何かお言葉ございましたか？

具体的な言葉の記録はないけど、大英博物館のみなさんが書いてくれた寄せ書きの続きに、この9月にグレイさん夫妻が来日して便利堂を訪れてくれた時の追記のコメントがあるの。きつと喜んでくれていたと思うよ。特にニコレット夫人にとって、夫のグレイ部長が父ビニョン氏の遺志を受け継ぎ完全複製の刊行を成し遂げ、こうしてその製作の地である京都の便利堂を訪問できたことは感慨深かっただろうね。

――本当にそうですね。次いで11月に日本版が刊行されました。

3つの重要な意義の最後が、この「単なる受注でなく、初めての海外機関と



京都において再び便利堂の皆様とご一緒できること、そしてかつてロンドンでお会いした友人の方々に再会できることを、この川のほとり、満月のもとというはるかに美しい環境の中で、心から嬉しく思います。また、テムズ河畔で私どもがおもてなした際、京都の名高い料理の素晴らしさには到底及ばなかったことを、恥ずかしく感じております。ここに改めて、深い感謝の意を込めて署名いたします。

バジル・グレイ 1966年9月26日

父ローレンス・ビニョンを偲び、私もここに署名いたします。

ニコレット・グレイ

大英博物館のみなさんの寄せ書き

「とにかく館のみなさんにはたいへん親切にしてくださいね。巻子の体裁見本を持参していたんだけど、最後にその白紙の部分にみなさんが寄せ書きをしてくれたの。グレイ部長をはじめ、我々のお世話をしてくださったフォンティンさん、東洋部の方のほか、エレベーター係の方のサインまである、それは本当に宝物だね。」

この続きに、左掲のグレイ夫妻の追記、並びに矢代氏の祝辞(6頁掲載)がある



「色チェックにはグレイさんも作業に立ち会っていただいていた、」「原本の絹地の剥落している部分や赤の後補部分はわかるようにしてほしいが極端にならないように」など色合わせの要望をお聞きしていたらしい。この作業には3日ほどかかったかな。」

現像できたカラーフィルムと原本とを照合し、色のチェックを行う(背景写真も同様)。カラーフィルムの現像は、現地の会社に発注。後ろで立ち会っているのはグレイ東洋部長

影」。カラー撮影は色合わせの参考に原本の色をカラーで記録するためのもの。でも今回は少し事情が違ってたね。

――というと？

《女史箴図巻》を原寸で撮影すると全部で19場面にカット割。それぞれの場面に4色分解撮影すると合計76カット。でも今回は現場で現像をして確認しながらの作業だから、撮影にも現像にも時間がかかり、もし作業が予定通り終わらないと問題ということで、異例の2色分解という手法を取ったの。

――なんと。半分に端折ったんですね。大丈夫なのでしょうか。

それでも来る日も来る日も地下の撮影場所から現像のために5階へ移動する辻本部長と棚田君の苦勞はたいへんなものだったと思うよ。そういえば撮影6日目に辻本部長が胃痛を訴えられてね、その後ますます悪化したため病院へお世話になった。急性の胃炎だったけど、まちがいなく仕事の重責によるストレスだろうね。辻本さんがカラーフィルムの発色の仕上がりを気に病んでいたから、フォンティンさんが「もし発色が悪かったら辻本さんはもうショックで起き上がれず、館にあるミイラみたいになってしまっうね」と、ジョークを飛ばしていたよ。(笑)

の共同出版」ということ。受注の引き合いから始まった話だけど、話を詰めていく中で予算規模が大きくなり、便利堂との共同出版という形でまとまってね。その後、最終的には朝日新聞社が発行元を引き受けてくれて、大英博物館500部、日本版500部、うち400部が販売用、100部が便利堂創立80周年の記念品として主要な得意先や博物館、美術館、大学などに進呈となった。

――大英博版と日本版は内容が違うんですね？

そう、大英博はコスト削減のために絵以外の部分は省略(題はモノクロ、跋文は割愛してるんだけど、日本版は全巻カラー掲載の文字通り完全版なの。

――西岡さんはこの複製事業の一部始終を回顧録として先年まとめてくださいました。現在これを元に便利堂ブックレットシリーズ第3巻として記録を刊行すべく、鋭意編集作業中です。

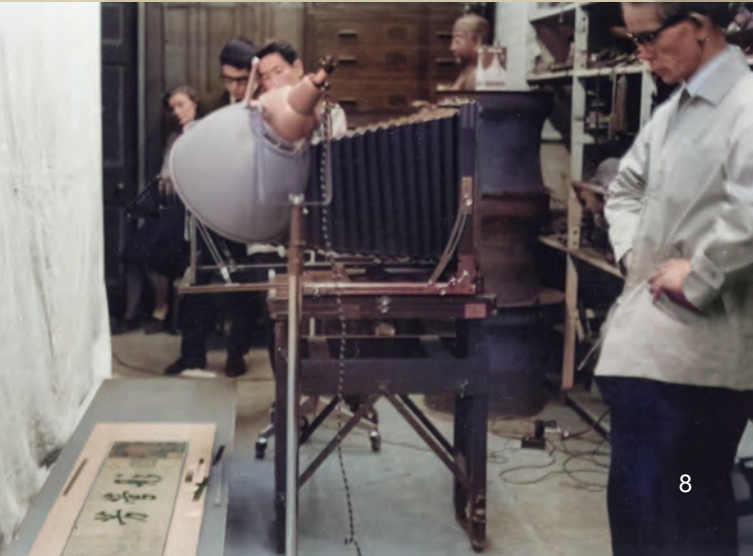
僕は先日95歳になったんだけど、このプロジェクトに参加した当時の技術担当者はもうほとんど残っていないわけ。だからこそ複製を制作することになった経緯から完成に至るまでの全容を書き留めることが僕にできる便利堂への恩返しやし責任やなと思ったの。刊行が楽しみだね。



※過去にメルマガで配信したインタビューのバックナンバーはこちら



本社(当時)前にて、ロンドンに向けた《女史箴図巻》複製500部の積み込み作業を終えての記念写真。船便で8月15日ロンドン到着予定であった(画像はAIによるカラー再現)



――帰国後は製作が始まります。原寸分解撮影は2色しか撮ってないでしょ？ 色が足りないから、今度はカラーフィルムを参考に、そこから他の色を取り出したフィルムを作っていくわけ。でもやっぱり元のフィルムと複製したそれとでは、微妙に合わなくてね。ずれば1ミリもあるかないかだけど、それを修正するのに製版の人たちが非常に苦労していたね。ほかにもインキが乾くのが遅かったり、きら引きの和紙で印刷しようとしたらピッキングが起こったり、桐箱が揃わなかったりと次々に起こる問題を一つずつ解決しながら、まさに協力会社も含めて全社一丸という感じだったなあ。

――最後にこのプロジェクトについて今の思いを聞かせてください。

僕は英大博で原本を鑑賞できた感動と幸せを今もなお噛みしめているの。それはやっぱり素晴らしかったから。実はこれまでに《女史箴図巻》複製は3回再版が企画されたのだけど残念ながら実現しなかった。だからそれが何らかの形で刊行されるといいなという思いがやはりある。便利堂のカラーコロタイプ技術は今も日々進化を遂げているから、その技術で複製された《女史箴図巻》をこの目で見てみたい。だって《女史箴図巻》は本当に美しいものだからね。

半切での原寸分解撮影。3月8日には、カラー撮影ともども終了。現像作業ののち11日には全てのフィルムの点検。結果、4カットの撮り直しとなる。この日より色チェックの作業に入る(画像はAIによるカラー再現)

「麦秋の候」

新緑、薫風、青葉、万緑、深緑

「手紙なんてちよっとおかげさかな。」でも、感謝やお礼、ともに喜び合うお祝いの気持ちなど、ときには手書きではがきやメッセージカードにちよっと季節の言葉を添えて送ってみてはいかがでしょう。折々の季節のごあいさつをご紹介します。

いつものお手紙を少し小粋に
本号からは少し趣向を変え、お手紙で使える時候の挨拶をご紹介します。まいります。いつもよりちよっぴり小粋に。みなさまのお手紙の書き出しに、ひと言に、ささやかな季節の風を添えるお手伝いができればうれしく思います。

梅雨の美しさ

5月から6月にかけて、季節の話題といえば梅雨入り。続く雨と湿気がうつうつしいこの時期だからこそ、いろいろな言葉や表現を借りて気持ちを和らげてみるのもよいものです。青々とした木々、紫陽花の淡さ、麦

【カードの文例】

畑のきらめき…。雨の季節のなかにも、こうした風景を言葉に映した味わい深い時候のあいさつがあります。5月の初め、若い芽の豊かさを表す「新緑の候」。また、若葉の香りを運んでくる風を言い表す「薫風の候」。5月中下旬にかけ緑が深まっていく様子は、「青葉の候」、「万緑の候」、「深緑の候」などと表されます。

「秋」がつく初夏の季語「麦秋」
そしてもう一つ、この時期を表す美しい言葉として紹介したいのが「麦秋」です。小津安二郎の映画『麦秋』から、この言葉を知った方

もいるのではないのでしょうか。「秋」とつきますが、麦の穂が実る初夏の頃を指します。秋が実りの季節であることから、麦が収穫を迎える時期を「麦秋」と呼ぶようになりました。映画にも、風に揺れる麦畑の風景が印象的に登場します。小津映画といえば、なぜかうちわが思い浮かびました。そこで今回は、ただいたうちわのお札のお手紙として、

〈SHIHO 便利堂〉シリーズ、伊藤若冲『玄圃瑤華』の絵はがきから、紫陽花の絵柄を選びましたためてみました。さまざまな言葉を思い浮かべながら、しばらく雨の季節を楽しんでみようと思います。

Season Greetings vol.25



SHIHO 便利堂 (玄圃瑤華 (紫陽花)) 宛名面

初夏のおすすめはがき



SHIHO 便利堂 (玄圃瑤華 (紫陽花)) 伊藤若冲

便利堂公式オンラインショップでは、初夏のごあいさつに最適な絵はがきを揃えております。



琳派—継承の美

美術はがきソムリエからの 定期便

- 毎月〈ふみの日〉に絵はがき8枚を6ヶ月間お届けします。
- 月々わずか 1,000 円 (税・送料込)
■半年間 6,000 円：月々 1,000 円(税・送料込) × 6ヶ月※
- 今回も特典が盛り沢山！
①毎回、琳派の世界をやさしく解説した〈特製ブックレット〉付き
②全6回一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香 (非売品) をプレゼント (先着 100 名様)



③さらにもれなく2大プレゼント

- ◆初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉
- ◆最終お届け月に、「抗ウィルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄 PHONE STICKER〉(定価 385 円) をプレゼント

※途中解約はいつでも可能です。月々の都度払いはクレジットのみとなります。くわしくは専用サイトをご確認ください。

絵はがきを飾ろう！ ●「美術はがき」がある暮らし
美術はがきソムリエの

今月のお題…新緑の候と紙製絵はがき立て

絵はがきマリアージュのススメ

京都便利堂本店にお越しいただくと
お料理とワインのマリアージュを楽しむように
季節のしつらえにピッタリの絵はがきを
美術はがきソムリエと一緒に選ぶ楽しさを体験していただけます。
このコーナーでは、誌上体験版として季節の絵はがきと
ディスプレイアイテムのオススメマリアージュをご紹介します。

季節のおすすめを
誌上大公開！

美術はがきソムリエ
増尾麻黄



紙製絵はがき立て

3色 (白・水・茶) ¥1,375
落ち着いた紙のクラフト感が場所を選びません。壁掛け・卓上置きも可能。縦横どちらでも飾ることができます。
サイズ / 17.0 × 21.7cm
仕様：紙製



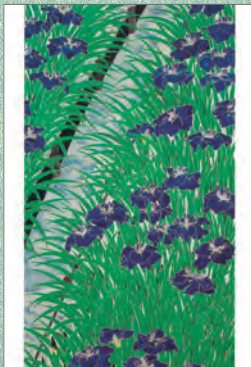
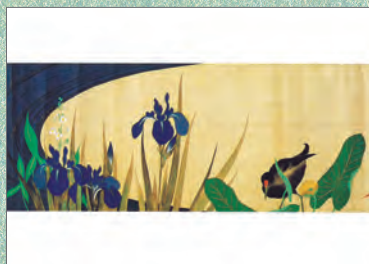
増…今回のおすすめ絵はがきは和紙の風合いがポイントの紙製絵はがき立てに合わせてご紹介します。
安…淡い色展開が落ち着いていて良いですね。軽いのでプッシュピンなどで壁に掛けても安心です。
増…まずは、器の絵はがきをセレクトしました。ころんと並べた豆皿の青磁が爽やか。
安…こちらもじめっとした湿気を吹き飛ばしてくれそうな北斎の滝。清涼感があっておすすめです。
増…本来は銀屏風の夏秋草図も余白のあるデザインだと風の吹き抜ける感じがしませんか？
安…雨続きで外出が減るこの季節。是非室内を飾って気分を上げていきましょう！

店頭でお好みをお聞かせください！

美術はがきソムリエ
安野美奈子



- 1 《重文 夏秋草図屏風(右隻)》酒井抱一
- 2 《花の中》上村松篁 京都文化博物館
- 3 《染付双兔文大皿 伊万里》
- 4 《四季花鳥図巻(部分) 夏》酒井抱一
- 5 《川》池田通邨 倉敷市立美術館
- 6 《花菖蒲》福田平八郎 京都国立近代美術館
- 7 《諸国滝廻り・木曾路ノ奥阿弥陀ヶ滝》葛飾北斎
- 8 《てっさい堂コレクション・青磁豆皿》



1・3・4・7 東京国立博物館
すべて ¥110



DETAIL OF “KYOTO-HAN”

実寸 / actual size (18.0cm)

POINT. 1

顔料を多く含んだ
コロタイプ専用インキを使用した
コックリとした独自の風合い

POINT. 2

版画技法の
刷り重ねによる
奥行きのある色味

POINT. 3

コロタイプならではの
グラデーションによる
画像のタッチ

POINT. 4

本体だけでも飾れる
0.8mm の
厚口用紙を使用

特集

は京都の楽しみ方
その1.. 京都はんを味わい尽くす

本体裏面：モチーフの解説（和・英）

京都便利堂 × tupera tupera



photo: Shingo Mitsuno

tupera tupera
亀山達矢さんと中川敦子
さんによるユニット。絵
本やイラストレーションを
はじめ、TV や舞台、空
間のアートディレクショ
ンなど、様々な分野で幅
広く活動している。絵本
『しろくまのパンツ』『パ
ンダ銭湯』など著書多数。
NHK E テレ「ノゾーのひ
らめき工房」のアートディ
レクションも担当。

京都便利堂が京都在住のアーティスト、
ツペラツペラとコラボレーションした新
しいカードシリーズ。『京都のさまざま
なもの』をモチーフにツペラツペラが描
き下ろしたイラストを便利堂独自のカ
ラーコロタイプ技術でプリントした「贈
っても、使っても、飾っても」楽しい京
都みやげの新定番です。〈京都はん〉の
「はん」は「版画」と京ことばの敬称「は
ん」を掛けています。

【特集】〈京都はん〉の楽しみ方

全20はん 各一三二〇円

 五山の送り火はん	 にしんそばはん	 京町家はん	 ハツ橋はん
 鴨川はん	 茶の湯はん	 鞍馬天狗はん	 時代祭はん
 渡月橋はん	 鯖寿司はん	 伏見稲荷はん	 二条城はん
 金閣寺はん	 京野菜はん	 喫茶店はん	 葵祭はん
 祇園祭はん	 東寺の五重の塔はん	 京都タワーはん	 舞妓はん

便利堂本店では全種、公式オンラインでは〈舞妓はん〉〈京都タワーはん〉の2種が購入いただけます。



市内20か所のサテライトショップで
各1種の〈京都はん〉を販売中
〈京都はん〉まち歩きMAPで
京都めぐりをしよう！
さまざまな顔を持つ〈京都はん〉は全20種類。市内20店舗のサ
テライトショップにて各1種類の〈京都はん〉を販売しています。
全種を集める京都めぐりもよし、お気に入りの1枚を求めて訪
ねてもよし。各店であなたとの出会いをお待ちしています。
サテライトショップ情報を掲載した専用スマホ地図「〈京都はん〉
まち歩きMAP」をご用意しています。



「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番



は京都の楽しみ方

特集

その2.. 贈って、使って、飾って！

HOW TO ENJOY “KYOTO-HAN”

贈って楽しい！



文化財複製でも使用されるコロタイプは、耐光性に優れているので、思い出とともにお気に入りの〈京都はん〉を色褪せることなくいつまでもお楽しみいただけます



訪ねた土地の思い出話と一緒に贈れば、楽しい話に花が咲くこと間違いなし！「次は鞍馬に行きたいな。」「ぜひ一緒に！」大切な人と気持ちを分かち合うコミュニケーションツールとしてお勧めです

飾って楽しい！

そのままラフに飾っても素敵！



使って楽しい！



パッケージはもちろん、本体に140円切手を貼って住所を書けばそのままポストに投函できます。風景印や記念切手を貼付すれば、旅先からの特別な絵手紙としても楽しめます

便利堂スタッフの“推しはん”

肉厚の身とゆるい鯖の顔がなんと心にくすぐられます！よく見ると粒立ちの良さそうなお米のシルエットまで再現されていますよ

私の推しは〈鯖寿司はん〉



迫力ある虎の顔と唐門の組み合わせがお気に入り！守神のように我が家の玄関先に鎮座しています！

私の推しは〈二条城はん〉



私の推しは〈喫茶店はん〉



京都は意外にも喫茶店天国！この絵のように味のあるマスターがいるお店の珈琲って美味しい確率が高いかも！？

安野美奈子
京都便利堂本店店長

美術はがきソムリエの私たちが自信を持って選びました！

現在3コースをご用意。
お好みをお選びください！



増尾麻黄(ますお・あさぎ)
京都便利堂直営ショップスーパーバイザー。絵はがきを通して堅苦しいイメージがある美術品や美術の世界を身近に感じてもらえると嬉しです。

〈美術はがき定期便〉は、私たちが毎月テーマを決めて、それにピッタリな絵はがきを選んで、お得なセット価格で皆さまにお届けする趣向です。

絵はがきを使う派、コレクション派、飾る派はもちろん、美術には興味があるけど詳しくない、という方にも、ちょっとした「学び直し」の機会になればいいと思います。

税込、送料込。
いつでも解約できます！



安野美奈子(やすの・みなこ)
京都便利堂本店店長。ご来店の際は、店頭にはない絵はがきもご提案させていただきます。お気軽にご相談ください。

便利堂の絵はがきは千種を超えますから、自分で選ばないような、思いがけないものが届く楽しみもありますね。

お届けした絵はがきをきっかけに「今度は本物を見に行こう」と旅が始まるかもしれない。この定期便がそんな出会いの機会になれば素敵です。

※定期便各コースはすべて異なる商品を収録しています。
※内容は予告なく変更になる場合があります。

●毎月のお届け内容：コロタイプ絵はがき〈季趣五題〉を含む絵はがき 10 枚+特製ブックレット



毎回〈季趣五題〉
(定価 385 円)
が必ず1枚入っています。

付録として、お届け作品をやさしく解説したブックレットが毎号ついてくる！

●特典が盛りだくさん

もれなく、11月に〈わたしだけの絵はがきカレンダー 2027〉(定価 300 円)、最終お届け月に、絵はがき全 120 枚が収納できる〈定期便特製コレクションボックス〉をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に〈ワイヤー絵はがき立て〉(629 円) をプレゼント (先着 100 名様)



通常合計価格 1,675 円 / 20,100 円のところ

都度払い 1,200 円 / 一括払い 14,400 円

■1年間 14,400 円：月々 1,200 円(税・送料込) × 12 ヶ月

毎月1回
全12回
1年コース

●ラインナップ

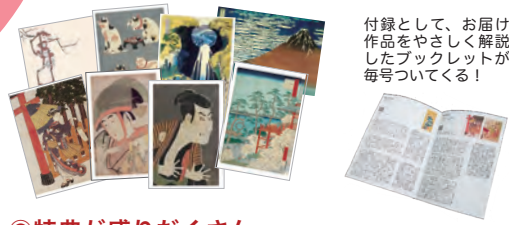
- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1月 〈よき塩梅〉 | 9月 〈秋の夜長に〉 |
| 2月 〈桜梅桃李〉 | 10月 〈はらぺこ美術めぐり〉 |
| 3月 〈春のうたげ〉 | 11月 〈烏兔匆匆〉 |
| 4月 〈清明〉 | 12月 〈はなむけの一葉〉 |
| 5月 〈青時雨〉 | |
| 6月 〈うつうつそうそう〉 | |
| 7月 〈清々しい「青」〉 | |
| 8月 〈夏バテを吹き飛ばす!〉 | |

毎月²³ふみの日に届く
「美術はがき」のある暮らし
美術はがきソムリエからの
定期便

※途中解約はいつでも可能です。
月々の都度払いはクレジットのみとなります。
くわしくは専用サイトをご確認ください。



●毎月のお届け内容：絵はがき 8 枚+特製ブックレット



付録として、お届け作品をやさしく解説したブックレットが毎号ついてくる！

●特典が盛りだくさん

もれなく、初回お届け月にオリジナル〈浮世絵年表・用語集〉、最終お届け月に、絵はがきが収納にピッタリ〈浮世絵 A5 変形クリアファイル〉(定価 385 円) をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に〈pushpin 式絵はがき立て〉をプレゼント (先着 100 名様)



通常合計価格 1,180 円 / 7,080 円のところ

都度払い 1,000 円 / 一括払い 6,000 円

■半年間 6,000 円：月々 1,000 円(税・送料込) × 6 ヶ月

●ラインナップ

- | |
|---------------------------------|
| 1/7月 〈美人画クロニクル ～春信、歌麿から英泉へ～〉 |
| 2/8月 〈北斎と広重 ～200 年前の日本の風景〉 |
| 3/9月 〈掌の芸術 ～摺物と版本の魅力～〉 |
| 4/10月 〈幕末から明治へ ～国芳・曉斎・芳年と新版画へ～〉 |
| 5/11月 〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉 |
| 6/12月 〈歌麿と写楽 ～仕掛け人・葛屋重三郎へ～〉 |

毎月1回
全6回
半年コース

琳派—継承の美

琳派だけの深掘り半年プラン

浮世絵だけの深掘り半年プラン

通常合計価格 (平均) 1,273 円 / 7,640 円のところ

都度払い 1,000 円 / 一括払い 6,000 円

■半年間 6,000 円：月々 1,000 円(税・送料込) × 6 ヶ月

●ラインナップ

- | |
|-------------------------------|
| 1/7月 〈受け継がれる意匠 ～金と色彩～〉 |
| 2/8月 〈琳派の源流 ～本阿弥光悦と俵屋宗達へ～〉 |
| 3/9月 〈琳派の水墨 ～墨と筆の表現へ～〉 |
| 4/10月 〈花ひらく琳派 ～尾形光琳と乾山〉 |
| 5/11月 〈受け継がれる意匠 ～草花図—変奏の系譜へ～〉 |
| 6/12月 〈江戸琳派 ～酒井抱一と鈴木其一へ～〉 |

毎月1回
全6回
半年コース



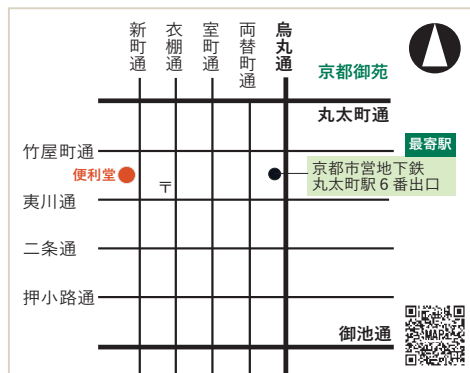
京都便利堂本店

〈京都はん〉全 20 はんを揃えてお待ちしております！

便利堂本社 1F には、美術商品を取り揃えた京都便利堂本店を開設しております。ぜひ京都にお越しの際はお立ち寄りください。

【営業時間】 10:00 ~ 19:00
【定休日】 日・祝日 (GW 中は無休)
【Telephone】 075-231-4351 (代表)

Instagram@kyoto.benrido
X@kyotobenrido
facebook@kyotobenrido.shop

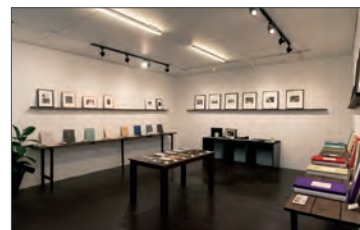


【アクセス】

〒604-0093
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302 番地

〈公共交通機関でお越しの方〉

- ・市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車 ⑥番出口より徒歩 7 分
- ・市バス 「文化庁前・府庁前」下車徒歩 5 分



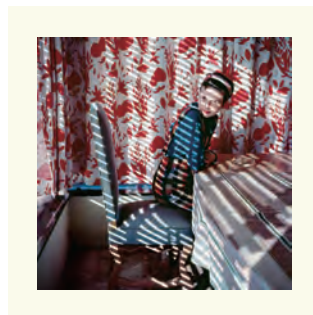
〈お車・タクシーでお越しの方〉

- ・京都駅から 15 分、お客様駐車場あります。
- ・タクシードライバーに「新町通り夷川(えびすがわ)上がる」とお伝えください。

コロタイプギャラリー

便利堂コロタイプギャラリー〈春季〉企画展示 写真と暮らす〈コロタイプポートフォリオ〉展

左より：植田正治 / ソール・ライター / 深瀬昌久 / ジャック・アンリ・ラルティエグ



京都便利堂本店がある便利堂本社には、〈コロタイプギャラリー〉が併設されています。現在ギャラリーでは、便利堂コロタイプ工房で制作し、販売中の各国写真家のコロタイププリントを好評展観中です。気に入った作品は、その場で購入いただけます。ぜひこの機会に同ギャラリーにお越しください。

※ギャラリー 2 では 4 月 27 日 PM より、Kennedi Carter の HARIBAN AWARD 受賞展を開催

会期：2026 年 4 月 13 日 (月) ~ 6 月 6 日 (土)
開廊：10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
休廊：日・祝日 (※ただし KYOTOGRAPHIE 開催期間の 4 月 18 日 (土) ~ 5 月 17 日 (日) は、無休)
入場：無料

※次回展は 6 月 15 日より「第 13 回コロタイプのおもしろさ展」を開催